

# 文京区観光情報発信リポーター活動報告 Vol.3

2023年2月

## 【訪問③】

文京区を5つのエリアに分け、各エリアで2名ずつ留学生が活動しています。年度内に4つの観光スポットを訪問する予定で、昨年9月から10月は3回目の訪問が行われました。活動毎に提出されるレポートのうち、5名のリポーターの訪問レポートを紹介します！

### 根津・千駄木エリア

メリッサ・マホニー

日本文学に憧れている方々や授業で彼の作品を読んだ留学生には小説家・夏目漱石旧居跡は必見の場所となっている。“吾輩は猫である”の場면을イメージしながら、そこを歩くのを楽しんだ。

菊見せんべいは、1875年に設立し、その歴史は100年を超えている。せんべいの種類が多くて、選ぶのが難しい！菊見せんべいは私が食べたきたせんべいの中で、一番おいしかった。甘いのは甘いけど、甘すぎない。醤油せんべいやそのほか様々な味のせんべいは、他のせんべいとは味が違くて、特別だ。



### 湯島・本郷エリア

グンジャン ジョシ

東京都水道博物館は2フロアからなります。順路として2階から回り始めます。この2階には江戸時代の水道の様々な技術・設備について知る事ができます。1階は東京都の水道の現状を展示し、現在の水質検査に使用されている設備や機器が見られます。明治時代から現在まで使用されている原寸大の鉄管も見られます。



## 後楽園・春日エリア

チョウ インキ

博物館の展示室は四つのエリアに分かれています。まずはプロローグ、そして展示室には常設展示エリアと企画展示エリアが含まれています。最後は印刷工房です。プロローグは大きな壁で構成されています。壁を見ながら歩くとタイムスリップしているようです。常設展示では、印刷の歴史（主に日本の印刷史）について詳しく紹介してくれました。タブレットを使って（中国語、英語、韓国語もあります）展示されている印刷物の物語りをより知ることができます。工房の見学もし、活字に関する豆知識を勉強しました。



## 小石川・白山・本駒込エリア

チョウ ショウガン

六義園は、立つ場所や見る角度によって見える風景が変わるので、繊細さがあります。日本の庭園は、西洋式や中国式の庭園とは違って、人間と自然空間の関係についての考え方がユニークだと思います。

庭園内には、休憩の茶屋がいくつかあります。印象に残ったのは「つつじ茶屋」という茶屋で、戦争を免れた、園内で一番歴史が長い茶屋だそうです。正門の反対側にもう一軒（吹上茶屋）あって、そこでお茶や和菓子がいただけます。お土産も提供されています。



## 関口・目白台エリア

チェン パイエン

音羽今宮神社は創祀（そうし）以来、三百年余ずっとこの地の鎮守神（ちんじゅじん）として崇敬（すうけい）されて、病氣平癒の御利益があります。

鳩山会館は元総理大臣・鳩山一郎の家でした。この美しい洋館の中には鳩山家四代の記念品、海外の国家元首からもらったプレゼントを展示しています。

帰りに鼠坂にも寄りました。鼠坂は、音羽一丁目10と13の間にあります。細長い様子から、鼠が通るような坂と言われたとの説があります。森鷗外の小説「鼠坂」には「鼠でなくては上がり降りが出来ないと云ふ意味で附けた名ださうだ」と書かれています。

